

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠障害症 等の既往	睡眠障害症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 歴	異常な行動に関 する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)	旧資料No			
14	B07000106	4	年	男性	激越	2007/3/18	19:00	2007/3/18	20:00	—	—	—	—	—	No	No	No	No	2007/3/17 37°C台の発熱あり。 2007/3/18 午前中から39~40°C台の発熱があり、休日診療所を受診した。インフルエンザA型と診断。タミフル、ムコダインが処方された。自覚所見:39°C~40°C台、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)。(19:00)本剤、ムコダインを服用した。(20:00)大声をあげて、一点を凝視した。その後、ぼーっとして入眠した。(23:30)大声をあげて、押さえつけていないと動き出そう暴れた様子で、救急車で当院救急外来に搬送された。来院時、意識は清明で興奮状態になかった。本剤は中止とし、観察目的で入院した。以後、輸液のみで観察したが、異常行動、けいれん、異常発言などはなく。 2007/3/22 退院。	異-2-25			
15	B07000286	4	年	男性	①譫妄 ②異常行動 ③筋骨格硬直	2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11	8:00 18:00 8:00 18:00	2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11	8:00~14:00 18:00~23:00 8:00~14:00 18:00~23:00	×	No	—	5~6時間	Yes	発熱持続 解熱過程	—	No	No	No	No	2007/3/10 (8:00頃)インフルエンザAに対して、タミフル66mg×2回/日投与開始。コケッコーと言ったうわごと(非重篤)を言って、表情もこわばり(非重篤)、走り出すため、親が抱きかかえていた。(14:00頃)本剤服用後6~7時間後に症状消失。(18:00頃)本剤投与。症状出現。(23:00頃)症状消失。 2007/03/11 (8:00頃)本剤投与。症状出現。(14:00頃)症状消失。(18:00頃)本剤投与。症状出現。(23:00頃)症状消失。3/10~11で計4回本剤投与→症状発現を繰り返した。 2007/03/13朝本剤内服後、投与中止。症状全て回復。 睡眠随伴症を思わせる既往なし。	異-2-54	
16	B07004784	4	年	女性	異常行動	2007/3/15 2007/3/15	12:00 20:00	2007/3/15	20:00	○	Yes	—	1分	Yes	発熱持続	—	No	—	—	—	熱性痙攣	不明 今季、予防接種2回施行。 2007/3/14 (4:00)発熱。(午前)当院初診。インフルエンザウイルス抗原迅速検査(鼻をかんだ鼻汁検体)を行ったが陰性であった。トミロン細粒180mg分3、ムコダイン細粒450mg分3、カロナール細粒150mg頓用を投与した。 2007/3/15 (午前)解熱せず再来した。鼻腔腔擦過液を用いて検査を行った所、インフルエンザAと診断。(12:00)本剤30mg/回投与。(20:00)本剤30mg/回投与。異常行動発現。寝ていて夜中に突然起き上がり、同じ部屋のTVの方へ歩いていった。眼は開けていたがうつろであった。口を動かし、もごもごしていたが、意味は不明であった。会話は成立しなかった。1分目で横になって静かに眠りに就いた。 2007/3/16 (朝)覚醒し、以降異常は認められなかった。異常行動軽快。本剤は以降服用しなかった。 2007/3/17 (朝)解熱した。	異-1-20
17	B04008530	5	年	男性	譫妄	2004/2/6 2004/2/6 2004/2/7 2004/2/7 2004/2/8 2004/2/8 2004/2/9	10:20 18:15 10:45 18:35 10:30 20:00 7:45	2004/2/6~ 2004/2/7	夜~ 明け方	—	—	—	24hr以内	Yes	発熱持続	—	No	No	No	No	無	2004/02/05 夕方、インフルエンザ発症。 2004/02/06 38.9°Cの高熱を主訴として来院。インフルエンザ抗原試験にてA型と判明。(AM10:20)タミフル内服。(PM6:15)本剤内服。体温:40.2。夜~7日明け方にかけて40°Cの高熱が続く。 2004/02/07 明け方、鬼が出たと言って、興奮して家の中を走り回っていた。いわば譫妄状態に陥った。(AM10:45)本剤内服 (PM6:35)本剤内服 体温:37.0。同日、譫妄回復。 2004/02/08 (AM10:30)本剤内服 体温:36.7 (PM8:00)本剤内服 体温:36.2 2004/02/09 (AM7:45)本剤内服。体温:36.0°C	異-1-66
18	B05024964	5	年	女性	譫妄	2006/02/06	夕	2006/02/06	20:00-翌4:00	○	Yes	1	No	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	無	突然起き上がって眼をしっかりと開けている。しかし目つきはおかしい。そして母の服に変な小さな黒い虫がついているとか、シールがついているからとそれを剥がそうしたり、毛布をアイスと言って口にくわえたり、そばに友達がいて何々したらダメとか何々を貸してなどと話しかけたりする。夢遊病の様に立って歩いたりもした。ほとんど眠らずにこのような症状が続いた。	異-1-73
19	B05025585	5	年	男性	譫妄	2006/2/21	昼、19:00	2006/2/21	14:00 16:00	—	—	—	数~30分	—	—	—	—	—	—	—	高熱時、奇声を上げることがあった。	2005/3 本剤服用し、異常行動(重篤度不明)発現。 2006/2/19 (朝)患児の母、発熱。 2006/2/20 患児の母、インフルエンザA型と診断。 2006/2/21 発熱。当科受診。インフルエンザA型と診断。本剤内服開始した。(昼)本剤60mg服用。(14:00頃)30分ほど混迷状態(奇声、走り回る、ないものをあると言う)となった。(16:00頃)数分同様の状態となった。(19:00頃)本剤2回目60mg服用。(21:00過ぎ)30分ほど混迷状態となり、救急受診、入院した。 2006/2/22 解熱。 2006/2/24 点滴中止。 2006/2/25 増悪なく退院。	異-1-111
20	B06025200	5	年	女性	異常行動	2007/2/20	19:00	2007/2/20	20:00	×	安眠出来ていない。寝言の延長→うとうとしている状態から発現	—	6時間	Yes	発熱持続	No	No	—	No	—	不明	2007/2/20 インフルエンザA型と診断。タミフル69mg×2回/日処方。(朝)本剤内服したが嘔吐。この時期は発熱にかかわらず、特に異常行動を認めなかった。(19:00)タミフル内服。体温:39°C。朝は嘔吐してしまったので、実際には夜だけ服用。内服後寝かすつけていたが、うとうとしている状態が続いていた。(20:00)服用後1時間くらいから異常行動発現。症状としては夜から朝までわけのわからない行動が続き、一晩中眠れなかった。タミフルを服用させ、寝かせようとしたが、うとうろろしている状態でふとんを投げ出したりする行動が出現した。 2007/2/21 (3:00~5:00)明け方より熟睡。おそらく熱は下がっていたと思われるが不明。異常行動回復。 2007/2/26 インフルエンザ:軽快・回復	異-1-114
21	B06025337	5	年	女性	異常行動	2007/2/5	16:30	2007/2/5	22:00	○	Yes	1.5時間	約2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	不明	2007/2/5 (17:00)インフルエンザに対して、タミフル内服。(20:30)就寝。(22:00)異常行動発現。急に起き上がり、嘔吐し、トイレへ駆け込んだ。その後、便座や自分の太ももを必要以上にさすっていた。心配になった両親が救急車を呼び、搬送。 2007/2/6(0:00)就寝。(~4:00) (5:00)就寝。(~8:00)熱も下がり、退院。異常行動回復。	異-2-29
22	B07000128	5	年	女性	①異常行動 ②意識レベルの低下	2007/3/19	14:00	2007/3/19 2007/3/20	20:00 12:00	×	No	—	1分以内	Yes	事象1は一 事象2は解 熱後	No	No	No	No	No	無	2007/3/19 (午前)39.6°Cの発熱あり受診。インフルエンザA型と診断。(14:00頃)本剤1回分33mg服用。 (20:00頃)急にかげ出して転倒した。眼球上転あり。意識はすぐに回復するも、その間の記憶は無かったと。 その後本剤服用せず。 2007/3/20 (12:00頃)トイレに歩き出した後、眼前暗黒となり倒れかかり、母親が支えられた。意識消失は無かった様だと。またこの時発熱は無かったと。	異-2-29